



Heart to Heart

Smile man 510

率直に語る 後藤しげゆきニュース

2008
夏季号
Vol.34

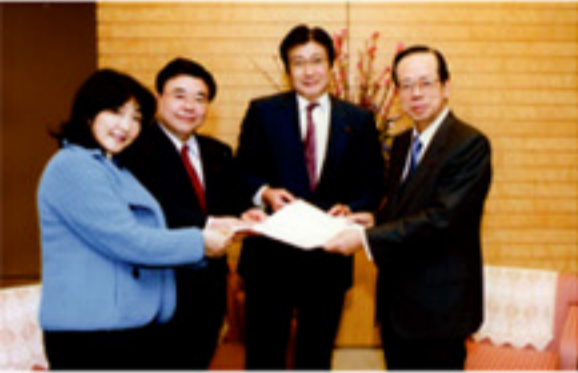
発行/後藤茂之 後援会

[ホームページアドレス]http://www.510.to [メールアドレス]goto@510.to

●諏訪事務所/〒392-0017 諏訪市城南1-2542 ●塩尻事務所/〒399-0738 塩尻市大門七番町5-12 ●木曾事務所/〒397-0000 木曾郡木曾町福島上塩淵2690



▲政調副会長兼事務局長として政調のとりまとめに活躍。中川、石原、谷垣と三代の政調会長を支えた。



▲中小企業対策を事務局長として総理に申し入れ。



▲衆議院本会議において党を代表して討論に立つ。



▲地元市町村長・議長らの要望を聞く。

また、国民に広がった政治不信を払拭するため政府の無駄使い撲滅や必要性のなくなった事業の見直しを徹

不景気、政治不信を乗り越える。

暑さ厳しき折、お元氣にお過ごしでしょうか。日頃、皆様には大変お世話になり本当にありがとうございます。

さて、現在政治、経済、社会の状況は大変厳しくなっております。果敢な政治決断を行い積極的な政策実行を行う

時です。原油価格や食料価格の高騰の影響が直撃している国民、中小企業、農林業等に対し緊急対策を講じ、景気後退

に見舞われている経済を成長軌道に戻すための大型の経済対策を早急に行い移します。財政が厳しい中でも国民生活

の安心のための医療の見直し、災害復旧等も含めた大型の補正予算を至急編成いたします。八月初旬、政調副会長

兼事務局長として、政調会長、与謝野経済担当大臣と直接面談の上、「経済政策」の骨格をまとめ、その道筋をつけた

ところで。

心の通う改革路線を貫く。

パワートラクション



底的に行っていくべきです。

続出する恐ろしい事件や教育の荒廃に対しても、規範性、社会性を確立し、希望のある誇り高い社会を創り出さねばなりません。不平、不満を言っているだけでは、この閉塞状況を打開することはできません。みんな力で力を合わせてがんばりましょう。

行政改革・厚生労働政策の重責を担う。

当選三回ながら、これまで政調副会長兼事務局長に大抜擢をいただき、中川、石原、谷垣三政調会長を必死に支えて参りました。引き続き今回また、公務員制度改革、特別会計・独立行政法人の歳出見直し、公益法人改革などをとりまとめる総理総裁直属の行政改革推進本部事務局長、皆様ご承知の通り年金、医療、介護と問題山積の厚生労働部会長等党の要職を拝命し、責任の重大さを痛感しております。

少子高齢化が急速に進む中で、財政問題を含めて持続可能な社会保障制度を構築することは、責任ある政府・与党の最も重大な責務です。そのために歳入・歳入両面にわたる制度の見直しも必要となりますが、それはあくまで本当に困る人に対しては丁寧な配慮を行う「心の通うやさしい改革」でなければなりません。目の前で困っている一人の人を見逃さないという政治の原点にたつて、政策の見直し、実行に取り組みます。



語る 後藤代議士 Q&A

現在の政治状況についてどう思うか？

A

確かに、まず政府支出の無駄排除、公務員の綱紀粛正、年金資料問題等が重要なのは言うまでもないことです。しかし、そればかりが政治の課題とも思いません。①日本の経済生産性・競争力は、世界で十位後半にまで落ちたが、こんなことを十年も続けていたら日本はどうなるのか。豊かさに慣れた国民はそれに満足できるのか。②カネを出せば、いくらでも原油、資源(レアメタル)、食糧が手に入るという時代は終わったと世界で言われている中で、日本のこれからの国家戦略をどうするのか。③持続可能な社会保障制度を維持するために、受益と負担の水準をどう国民として選択するのか。こうした骨太な課題にも正面から取り組まねばならないと考えます。

A

特筆すべき洞爺湖サミットの成果は？

環境問題において、日本が提案していた産業別に各国のCO2排出量を管理するセクター別アプローチが、各国に受け入れられたことです。先端環境技術の貢献等を折込んだ日本発の新しい国際標準にしたいと考えます。

A

農林業に対する対策については？

原油高に対応するための省エネ型農業への転換支援・助成、食料自給率向上のための新規需要米・麦等の振興(転作助成金の上乗)、IT技術の活用による流通コストの削減、生産者事業者に対するセーフティネットの充実と経営安定対策の強化、農林産品の輸出促進、木材利用等の森林吸収源対策の加速化等に積極的に取り組まします。

A

関心の体重増減は？

一時少し減ったものの春以降、仕事が忙しすぎてストレス太り(メタボ)です。残念！